

区政会議における意見への対応状況

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
1	R1.6	小田切委員	<p>(防犯)</p> <p>・青色(防犯)パトロールは、小まめに回っていただいているが、皆さん、警察が回っていると思っている。もっと区でやっていることをアピールし、それが犯罪の防止にもつながればいい。</p> <p>【元年度 第1回区政会議】</p>	<p>・委員からのご指摘を踏まえ、青色防犯パトロール車(以下、「青パト」という。)の認知度向上とアナウンスに耳を傾けてもらう取組みを検討しました。まず、青パトの認知度向上については、小学校での朝礼で青パトを持ち込んで啓発を実施したり、FacebookやTwitterを活用し、防犯啓発と併せて青パトの写真を掲載しました。次に、アナウンスについては、委員の地元の小学校である淀川小学校に協力を要請し、小学生の声で「5つの約束」など啓発放送の音源を録音し、下校時間や夏休み期間中に、青パトにてアナウンスを行うことで、多くの方々に耳を傾けていただきました。</p>	①	—
2	R1.6	南委員	<p>(広報)</p> <p>・(区は)いろいろなことをしているのに、携わっている私でもわからないことがある。(ましてや)一般の区民の方であれば、どこで何をしているかさっぱりわからない。もうちょっとうまい発信方法を考えてほしい。</p> <p>【元年度 第1回区政会議】</p>	<p>・都島区では、毎月1日に「広報みやこじま」を発行し区内に全戸配付しているほか、区内広報板、区ホームページ、区SNS(Facebook、Twitter)を使って情報発信しています。重ねて、令和2年4月より、子育て情報に特化したLINEを開始しました。これらの広報ツールの特性を生かし、伝わる広報に努めてまいります。</p>	②	<p>【令和2年度運営方針における関係取組】 (具体的取組4-1-2) 広報の強化 令和2年度予算額 21,942千円 (うち LINE公式アカウント使用料66千円)</p>
3	R1.10	山田委員	<p>(防災)</p> <p>・現在、避難所については各小学校等々になっていると思うが、時期によって避難所へ行っても冷蔵庫ひとつない。そういったところへの対策を打っていただきたい。避難者に少しでも安心して食事(や生活を)していただける設備を各小学校のほうに予算を組んで(用意)していただけたらと思う。</p> <p>【元年度 第2回区政会議】</p>	<p>・各避難所に一定数の備蓄は行っているが、受入想定人数分は用意できないため、日頃からの備えとして、食料等は最低3日分、出来れば7日分の備蓄をお願いしています。</p> <p>・現在の新型コロナ禍で災害が発生することになれば、感染症防止にも努めなければならいので、安全が確保されるのであれば、在宅避難等をお願いしています。そのためにも日頃からの備蓄は重要と考えています。</p> <p>・災害発生後、避難日数が長期化していくと、避難所となる学校も再開していくことになり、避難所を集約していくことが想定されます。その一つの取組みとして、夏の暑い時期であれば、要支援の方々の受け入れであったり、熱中症対策として、令和3年度までに全ての中学校の体育館にエアコンを設置していく方向で取組みを進めています。</p>	⑤	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
4	R1.10	早光委員	<p>(防犯)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(照明が)明るいとか防犯カメラがあると犯罪や非行が減る。そういうところがまちづくりにリンクして、住みやすい都島になってくると思う。 <p>【元年度 第2回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(子どもが巻き込まれる)犯罪が増えていることなどから、大阪市では、防犯上有効とされる防犯カメラを平成28年度から30年度の3か年にかけて市内各所に1,000台設置する事業に取り組み、区内には42台設置しました。また、区の独自事業として、平成27年度から防犯カメラの設置補助事業を実施するとともに、今年度は新たに地域安全防犯カメラ設置事業を進めており、安全で安心なまちづくりに向け取り組んでいます。 	②	<p>【令和2年度運営方針における関係取組】</p> <p>(具体的取組1-2-1)</p> <p>警察等と連携した防犯活動 令和2年度予算額 4,260千円</p>
5	R1.10	金子委員	<p>(まちの活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城北公園通駅ができて、女性の乗降客、遅く帰られる方がかなりおられるので、商店街では11時まで照明をつけようと頑張っている。明るいことがすごく安心につながると思う。そのために商店街としては電気代が年間すごくかかる。そういうところの補助も行政に少しでもしていただいたら、商店街が助かる。 ・今、都島区内の商店街はなくなってきている。商店街の復興も地域と(行政が)一緒に考えていただいたら、まち全体が活性化するのでは。 <p>【元年度 第2回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街に対する電気代の補助など市の事業はありませんが、LEDに替えるための工事には補助制度があります。その他にも商店街の活性化の支援メニューがありますので、関係機関と連携して支援してまいります。 	①	—
6	R1.10	彦坂委員	<p>(子育て支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(子どもの発達障がい)保護者の方自身が受け入れるのがなかなか難しいところがあるようで、どうしてもそこから目を背けてしまう流れがあるように思うので、うまく支援ができれば。 <p>【元年度 第2回区政会議】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方にとって悩ましい問題だと思われます。早い段階で専門的な支援を行った方がよい場合も多いので、将来的な改善をめざして対応してまいりたいと考えています。また、SSW等を通して学校と区役所との連携を強化していきます。 	②	<p>【2年度運営方針における関係取組】</p> <p>具体的取組2-3-2</p> <p>SSW(スクールソーシャルワーカー)による相談支援体制の強化 2年度予算額 3,455千円</p> <p>子育て支援事業(臨床心理士による福祉相談の実施) 2年度予算額 3,149千円、2,972千円</p> <p>要支援妊婦への訪問等支援 2年度予算額 3,149千円</p> <p>精神等障がい者への子育て支援 2年度予算額 3,488千円</p>

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
7	R1.12	中口委員 石見委員	<p>(地域コミュニティ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域には新しいマンションがどんどん増えて、どうい う方が住んでおられるのかも分からない状況なので見 守りをするのも難しい。そのような方達とどのようにして コミュニティ、地域のつながりをとっていったらいいの かというのが、地域の町会としての課題だと感じている。 ・地域で潮干狩りに行くというイベントをすると200人 以上の方が参加してくれる。一方、食事サービスには来 る人もスタッフも同じメンバーが何年も続けていて、お 互い高齢化している。例えば、潮干狩りに来た若い人 が食事サービスの手伝いをしてくれるなど次の世代へ の入れ替わりがあればいいが、なかなか難しい。 <p>【元年度 第1回安心・つながり・地域福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会単位(第一層)の活動等を支援し、身近な地 域でのつながりづくりと地域活動の活性化を図るなど、地域の 実情に即したきめ細やかな支援を行い、より多くの住民参加を 促してまいります。 	②	—
8	R1.12	森田委員	<p>(地域福祉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8050問題について、知り合いにも何人かいる。お母さん と息子さんが親密で離れない。今はお母さんも元 気、息子も50歳過ぎていて外には出ないけれど家 では元気。そういう方は支援を受けようとしな い。それを埋もれているというのかは分らない が、そういうときにこちらから何かを言うこと もできない。 <p>【元年度 第1回安心・つながり・地域福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相互依存や共依存の問題はいろいろな年齢で起こり得るもの と認識しております。高齢者と50代という場合や、若いお母さん と子どもという場合もございます。一朝一夕に解決することは難 しい問題ですが、問題の視点としては非常に重要であると認識 しています。 	⑤	—
9	R1.12	石見委員	<p>(地域での見守り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の地震のときだったと思うが、民生委員さんに見 守り対象になっている方の連絡を区役所から依頼され たと思う。民生委員さんは自分の持っている名簿に 載っている高齢者や障がい者に連絡をとって安否確 認をされた。一方、ひとり親で幼児2人を育てている家 庭なども、いざというときに荷物を持って子ども2人抱え て逃げるのは非常に難しいと思うが、そういった方々 への見守りはどのように考えればいいのか。 <p>【元年度 第1回安心・つながり・地域福祉部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親で小さなお子様がいらっしゃる方々のうち見守りが必 要な方を区役所として把握することは困難であります。つきまし ては、日頃からの地域でのコミュニティ形成のなかで見守りをし ていただくことが重要になってくると考えています。 	⑤	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
10	R1.12	早光委員	<p>(区の取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業との連携で、吉本興業と市との提携、住みます芸人の活用は、どんな効果があったのか。 <p>【元年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 住みます芸人は、地域の祭りやイベントで活用いただくことによって、地域を盛り上げていこうという取組みです。包括連携協定により、吉本興業という資源の活用をさせていただきながら地域の活性化、区への愛着醸成に取り組んでまいります。(住みます芸人の活用実績:令和元年度 19件) 	⑤	—
11	R1.12	西村委員 能勢委員	<p>(魅力発信のターゲット)</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力発信・創出は、ターゲットと目的、どういうところを目標として発信しているのか。(ターゲットは区内外の)両方獲得できたらいいと思うが、シティプライドをつくっていこうという部分(が目標)だとすると、内部にもうちょっと(注力が必要では)。両方追うとなかなか(難しいこと)なので、注力をしっかりしたほうがいいのか、それをきちんと物差しではからないと(いけない)。 大川(沿いは)、公園として整備されているが、いつも限定的なイベントというか、シーズンを通して常に何かあるというものではない。地元の人にとってはいいのかもしれないが、外部発信としてはどうか(と思う)。 <p>【元年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 区外も意識して発信していくべき部分はあるかと考えています。インバウンドは、市全体の観光施策の中で取り組むべきかと考えていますが、区の隠れた魅力を発掘しながらのコンテンツの発信は、区役所を中心に地域の皆さんと一緒に取り組むべき部分と考えています。 	⑤	—
12	R1.12	西村委員 早光委員 寺川委員	<p>(区北部の活性化)</p> <ul style="list-style-type: none"> (城北公園通)駅ができてから、行く機会はあるが、資源を見たりはなかなかない。コンテンツとしてももう少し磨かないといけないのか、発信(方法)を変えないといけないのか。 商店街をもうちょっとわっと(活性化)すればもっと明るくなる。例えば(生野区の)御幸通商店街って駅から離れているが、韓流ブームに乗って活性化して、そういうこともある。 ほかのまちから、(地域資源を)ご存じない方が多い状況の中で、例えばこれがあったらみんな行くのにな、という考え方で1回検討してみるのも、一つあるかもしれない。 <p>【元年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 城北公園通駅周辺の都島区北部は、与謝蕪村などの歴史文化があり、淀川沿いまで通じる城北緑道公園などの自然豊かな地域資源など様々な魅力にあふれる地域であり、城北公園通駅開業の効果を最大限生かせるよう、まちづくりの主体となる地元住民の皆さまをはじめ、まちづくりの関係部局などのご意見を伺いながら、まちのにぎわい・活性化につながるような取組みを検討してまいります。 	⑤	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
13	R1.12	西村委員 寺川委員	<p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(広報誌)を読むというのはなかなかなくて、SNSとかで見るのはあると思うが、そこに行くかというとなかなか行かない。情報が流れてくれば見るが、(情報を自分から)とりには行かないので、そこをマッチングさせる必要がある。例えば民間のお店の情報とあわせて情報が流れてくるとか、そういうふうに組んでいけば、民間活力という部分も少し(活かせるのでは)。市の広報じゃない、何区かのお店が載っているような広告に載っていると、お店の合間に見たりとか、(情報発信の)機会をうまくことつくっていい。 ・民間ベースの情報ツールの支援とか、民間の動きをサポートする仕掛けがあったほうがいいかもしれない。お店、地域のおもしろい会社、人がもう少し表に出てきてもいい。 <p>【元年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・区では店舗紹介や地域情報、行政情報が区民の方に伝わるよう、令和元年8月にJ:COMと包括連携協定を結びました。 	①	—
14	R1.12	早光委員 西村委員	<p>(京橋エリア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(京橋は)便利である反面、環境が悪い。放置自転車、吸い殻ポイ捨てが多いことがこの地区の問題である。 ・(京橋)イオンの跡地は、今後、魅力をつくっていくのに当って民間ベースでかなり動いていくので、区としても市としてもコミットしていく中で、地域と一緒に何か魅力を(つくりあげていければよい)。 <p>【元年度 第1回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・京橋地域では、地域や商店街、警察署や行政とが一緒になって「京橋地域の安全なまちづくり連絡協議会」を設置し、現在、月3回程度、建設局と一緒に放置自転車を即時撤去する啓発や、月2回程度、商店街のはみだし看板の是正や駅周辺の清掃などの環境浄化啓発を市民協働により実施おり、特に、放置自転車などは大幅に減少しています。 ・また、平成27年2月から京橋駅周辺を路上喫煙禁止地区に指定し、喫煙マナーの啓発などにも取り組んでいます。委員ご指摘のように、吸い殻のポイ捨てが多いのも事実であるので、誰もが快適で安全に通行できる京橋の実現に向けて、引き続き市民協働型の啓発などの取り組みを進めてまいります。 	⑤	—
15	R1.12	金子委員	<p>(グローバル人材育成事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブ(交流)の場合、外国とのつながりができたと思うが、参加した子ども同士のつながりはできているのか。お互い意見を言い合うこともしては。 <p>【元年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は1回に受講できる人数に限られ、参加した子ども同士のつながりづくりや真のグローバル人材育成のきっかけにはなったものの、効果が限定的でありました。一方で、学校教育においては、令和2年度から小学校5、6年生の英語必修化や、中学校でのC-NETによる授業の推進、独自のウェブ交流の実施などの取組みが進められています。このようなことから、今後は区として事業化するのではなく、各校の取組みを支援する形での推進を図ってまいります。 	⑤	・2年度より事業を廃止

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
16	R1.12	金子委員 中山委員 金子委員 彦坂委員	<p>(小学生学習支援事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・淀川小学校と大東小学校だけだが、ほかの小学校へ広げることは。 ・中学生程度なら高齢者が家を開放して見るようなことはできるのでは。区として講習会をしてボランティアを育てることも一つの案では。 ・基本ボランティアで考えているのか。活動補助金や報酬など事業化があってもいいのでは。 <p>【元年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<p>・当該事業については、試行的に2校で実施し一定の成果が認められましたが、そのままの形では予算額が大きすぎて全校に拡大することが困難であります。同時に、どの学校にも支援を要する児童生徒が存在することから、地域の方々の協力も得ながら、学習支援を含む居場所づくりに取り組み、区内全域に支援の対象を拡大してまいりたいと考えています。</p>	②	<p>【2年度運営方針における関係取組】</p> <p>具体的取組3-2-1 学習環境支援事業 2年度予算額 1,077千円</p> <p>具体的取組3-2-2 小学生放課後学習支援事業 2年度予算額 7,331千円</p>
17	R1.12	中山委員 伊藤委員 金子委員	<p>(学力向上支援サポート事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何校に配置されているか。初めて聞くが。 ・保護者にこの人がサポーターですと紹介はあまりないし、学校によると(サポートされている生徒に配慮して)あまり言わないでいることもある。学力サポーターより以前に実施されていたステップアップでは放課後に勉強を見ていたが、学力サポーターが授業中に入って集中させたほうが学力が上がったように思う。 ・ある中学校で、大学行っている卒業生に声をかけ、大学生が社会へ参加することも教えたいし、地域のいろんな仕事ができるようにとやられたが、校長先生がかわると消えてしまった。ボランティアも力を入れて、母校の子どもへの支援ができる子を育てることも大事だと思う。 <p>【元年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<p>・学力向上サポーターは、小学校全校に配置しております。当該事業は、教育委員会における取組みを充実させるため、区として独自に拡充し実施してきたものです。教育委員会において、制度の見直しがなされたことから、今後、区の事業のあり方についても整理、検討してまいります。</p>	②	-

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
18	R1.12	金子委員 伊藤委員 柴田委員	<p>(虐待防止・子育て支援の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> LINE公式アカウントで着実に妊婦関係の情報が行くようにするとか、新しい道具をうまく使っていくともっと伝達ができていくのでは。それと食育が大事。中学生向けの食育や調理実習が出ているが、もっと取り組まないといけない。 「要支援妊婦への訪問等支援」で、保育士資格などを有する者とあるが、保育士資格を持っているから出産のことが詳しいとはならない、助産婦や看護婦の経験資格がある方のほうがいいと思うが、生まれてからもこのサポートが続くのか。 かかわりが昔に比べると少ない。勉強を見る機会やスペースなど、子どもを安心して行かせられる方に力を使うほうが親としては安心。虐待でも、保育士資格の人と言われていたのもそうだが、訪問した結果、解決策が収入が少ないとかで、生活保護など違う話になっていたりするので、それなら、ママになった人とまだ子どもが生まれていない人の交流会とか、楽しい企画やイベントのほうがつながりも出てくるのでは。それで虐待がなくなるとは思わないが、減少はしてほしい。 <p>【元年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 食育に関しては、学校が早寝早起き朝御飯に力を入れていますので、区役所としてはそれを支援するスタンスで考えています。 要支援妊婦への訪問等支援については、始めに母子手帳の交付などの機会に保健師が対応し、支援が必要かどうかを判断します。その後、支援を継続する目的で保育士資格の保有者を想定しています。 出産の前の手帳の交付から、3か月、6か月、1歳半、3歳での健診などでコンタクトしていきます。今後、4、5歳児がいる家庭への接触を確保するため、市全体で対策を進める方針です。 精神疾患や経済的な問題などを抱えている妊婦さんに、保健師が電話や、(育児)教室に来ているときに状況を見たり、訪問に行ったりしながら、家庭状況を見させていただきます。自分で相談にいけない人もいますので、妊娠の時期にかかわることで、出産後のサポートをする支援者が増え、福祉の制度をつなぐ機会が増えます。 虐待については、最近は泣き声の通報を多く受けています。子育て支援室のリーフレットも入れつつ一軒一軒当たりながら、こういう通報が入ったので近隣を回らせてもらっていますと挨拶をさせていただいています。 子育て支援室と連携し、それぞれ保育士、保健師がお互い情報を連携しながら、危険があるとか、おかしいなど感じる場所に関わりをもっていきます。重大虐待を出さないために一つ一つ対応していくことが大事と考えています。 	②	<p>要支援妊婦への訪問等支援 2年度予算額 3,149千円</p> <p>精神等障がい者への子育て支援 2年度予算額 3,488千円</p>
19	R1.12	彦坂委員	<p>(発達障がい)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達障がいに対する理解を深めるための研修会が年3回だがいずれも平日。土日にはできないか。家庭を考えたとき、旦那さんの理解や協力が不可欠。平日だとなかなか参加しにくいのでは。 <p>【元年度 第1回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 土日開催を含めて検討してまいります。 	③	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
20	R2.2	中山委員	<p>(妊娠期からの切れ目ない子育て支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里帰り出産される妊婦がたくさんいると思うが、そういう方が都島区に帰ってきたときに、友達がいないことがすごく多い。私自身もそうだったので、孤独な思いをした。赤ちゃんや子どもが小さいときは外に連れ出す機会もすごく少ない。最近になり子育てプラザを知った。もっと周知したほうが、里帰り出産をした妊婦にはいいと思う。 ・土曜日でも就労している妊婦はいると思うので、土曜日に実施している妊婦向け事業について、日曜日に実施することもいいと思う。 ・子どもの発達課題について親が認めない場合、親が気づく機会があればいいのでは。 <p>【元年度 第2回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育てプラザなどの案内は母子手帳交付時にお渡ししていますが、より分かりやすく周知するよう検討してまいります。里帰り出産する妊婦には都島区に戻ってきたときに気になることを確認しながら、できるだけスムーズに都島区での子育てができるよう支援を行っています。 ・子どもの発達障がいについては、子育て支援の一環として、専門家による講演会を実施し概要を区ホームページに掲載するなど、特性の理解や対応方法などの周知に努めています。 	②	子育て支援事業(講演会実施にかかる予算) 2年度予算額 151千円
21	R2.2	金子委員 伊藤委員	<p>(地域福祉コーディネーター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所など、いろいろな場に出て行って活躍してほしい。 ・地域によって、認知度に差があるのではないか。 ・社会福祉協議会と連携して有効活用してほしい。 <p>【元年度 第2回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当区ではお住まいのすべての方が安心・安全に暮らせるまちをめざし、小学校区域ごとに「地域福祉コーディネーター(相談員)」を配置し、福祉についての一般的な相談のほか、受け付けた相談内容により関係機関につないでいます。 ・地域福祉コーディネーターは、心配ごと、困りごとを抱える方を見つけるアンテナ役、地域の皆さまと関係機関のパイプ役であり、「ふれあい喫茶」「食事サービス」などに参加し、顔が見える関係づくりに努めています。 ・見守り活動を行う各種団体と連携し、同行訪問や要援護者名簿の更新などの見守り活動の支援も行っています。 ・なお、地域福祉コーディネート事業につきましては、都島区社会福祉協議会への委託により実施しています。 	⑤	—

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
22	R2.2	金子委員 小田切委員	<p>(児童虐待)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務もあり、主任児童委員、民生委員、学校など地域の連携を図ることが難しい。 ・児童虐待は、自分とは関係のない特別なことのように思われているかもしれないけれど、普段からどれだけ子どものことを考えて接しているのか。気づいてもらう何か催しを行い、子どもの権利について気づいてもらいたい。 <p>【元年度 第2回教育・子育て部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい人と解決できる人が違うことがあり、相談しやすい人が解決できる人にどのようにつながかが大事です。つないでいくために、事例を紹介することなどが必要と考えています。また、つないでいくことができるネットワークの構築も必要と考えています。 	⑤	<p>重大な児童虐待ゼロに向けた地域子育てアシスト事業 令和2年度予算額 2,628千円</p>
23	R2.2	能勢委員 田淵委員 山田委員	<p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(史跡マップについて)これ自体はとても分かりやすいが、実際の現場に行くと、見にくかったりする。位置、目線、距離感があったり、読みづらいとかがあたりして残念。 ・こういうところを回るちょっとしたツアー的なものがあつたら、地域のつながりのためにも良いのでは。 ・(地域の)会館等にはいろんな方が来られるので、そこにも置いていただいたら、見てもらえるのでは。 ・フェイスブックは若い人はあまりやっていないイメージがある。LINEとかインスタグラムでも発信したら若い人にも伝わるのでは。 ・高齢の方はネットをなかなか利用できないところもあるので、紙ベース発信が多くても良いと思う。 <p>【元年度 第2回まちづくり・魅力部会】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ツイッター、フェイスブックに加え、令和2年より子育て情報に特化したLINEにも取り組んでいます。SNSを有効な情報発信の選択肢と捉え、今後も各ツールの特性を生かした情報発信に取り組んでまいります。 	②	<p>【令和2年度運営方針における関係取組】 (具体的取組4-1-2) 広報の強化 令和2年度予算額 21,942千円 (うち LINE公式アカウント使用料66千円)</p>

番号	年月	委員名	意見	対応方針	分類	予算措置
24	R2.2	早光 委員 田淵 委員	<p>(区や地域への愛着に関するアンケート結果)</p> <p>・愛着、親しみを感じない一番の理由「地域のつながりが無い」はそれぞれ地域でまちの形態がかなり異なっている(影響がある)と思う。(中でも)新しい集合住宅はその集合地区の中のコミュニティーはあるかもしれないが、横のコミュニティーはないし、ほかの地域から来られた方は、愛着は少ない。中学、小学校で児童数が増えているところに関しては、行政がいろんな手を打ってもずっと(こうした課題は)出てくることではないか。</p> <p>・愛着や親しみを感じる理由(として)、「地域のつながりが充実している」と(最も多く)あるので、いっぱいあるのはあるのだと思う。そこにつながりを感じていない人とどうやってつながるかという(点を考えてはどうか)。いろいろ情報発信とかもやっていったらいいのでは。</p> <p>【元年度 第2回まちづくり・魅力部会】</p>	<p>・他の地域から来られた方には、地域のお祭りとかに出たいけれども出られないとか、地域の清掃活動に行きたいけれども来られないとか、そういう方もおられるかと考えられます。そういった方たちをどうやって地域とつなげていけるのか、引き続き検討してまいります。</p>	⑤	—

※分類

- ①元年度において対応 ②2年度運営方針に反映または2年度に対応予定
 ③2年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他